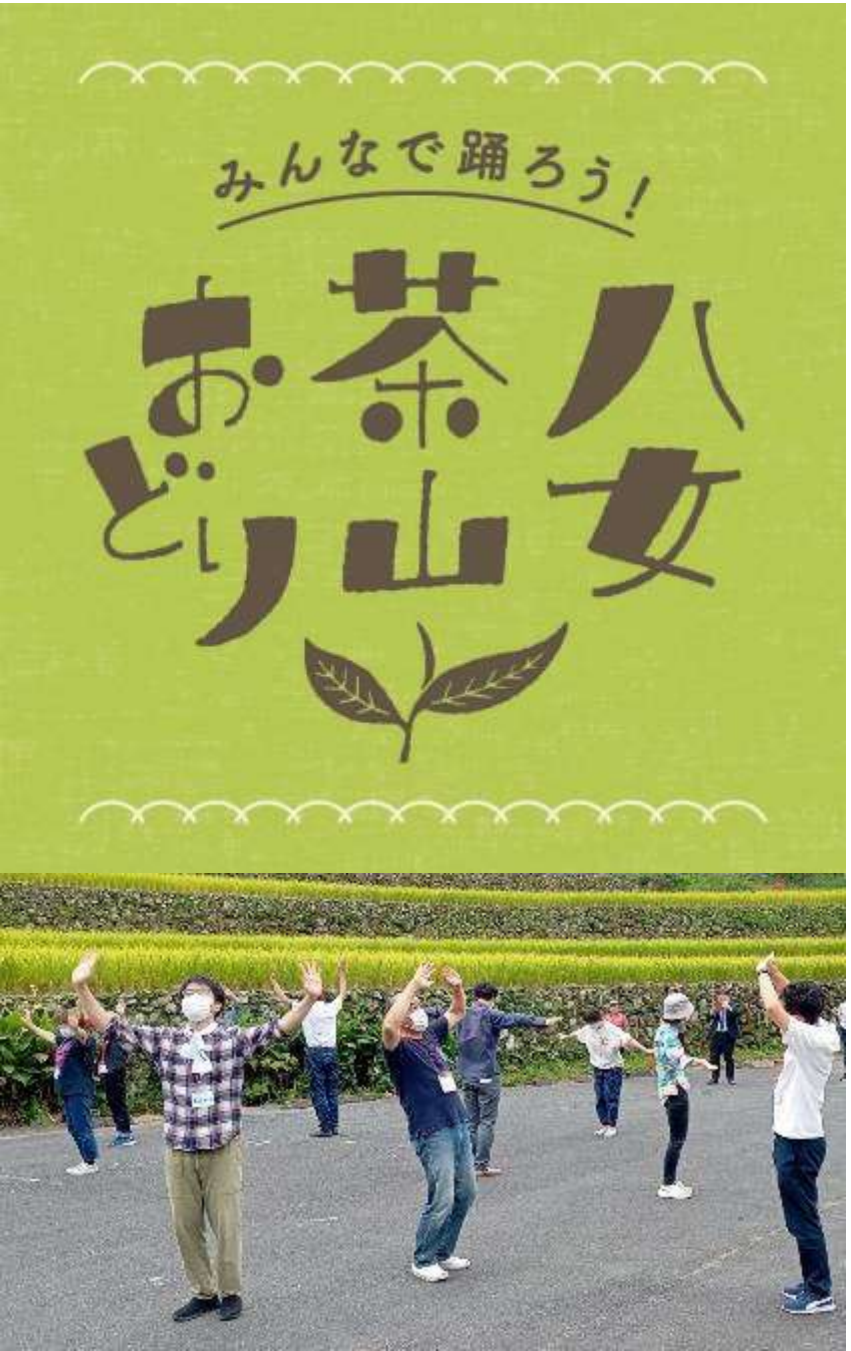

八女茶山おどりプロジェクト

認定NPO法人山村塾

こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾

こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾　@福岡県八女市黒木町笠原

都市と農山村の住民が一緒に
農作業や山仕事を楽しみ、山村の自然を守る

- 1994年4月1日　2軒の農家を中心に発足
- 2014年　NPO法人格取得
- 2017年　特例認定NPO法人
- 2020年　認定NPO法人

※NPO会員124名（正41名＋賛助83名）、
活動コース会員68家族、棚田米サポーター76名

こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾

活動の内容

目的

八女茶発祥の地として八女茶文化を育んできた笠原地区を拠点に、「八女茶山おどり」の推進を行い、それらを通じて美しい農山村景観の保全とそれを支える農林業と農山村地域の持続可能な暮らしについて考える。

概要

推進会議４回：八女茶山唄・八女茶山おどり普及、600年記念事業

体験会３回：踊り手育成、唄とおどりの普及

発表会１回：八女茶山唄、八女茶山おどり、八女茶の体験、意見交換

＊5/29（日）「NHK民謡魂ふるさとの唄」公開収録@おりなす八女に参加

こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾

スケジュール

	日程	活動内容	活動場所	参加者数
八女茶山おどり推進会議	4/26（火）	企画打合せ 600年祭に向けたアイデア会議	オンライン	4名
	5/30（月）		旧八女郡役所	7名
	2/10（金）		おりなす八女	4名
	3/15（水）		旧八女郡役所	5名
八女茶山おどり体験会	5/29（土）	八女茶山おどり体験 八女茶試飲	旧八女郡役所	25名
	6/19（日）	「NHK民謡魂ふるさとの唄」の放映にあわせて	えがおの森	26名
	11/20（日）	コロナ禍で休止していた地元の祭り「笠原まつり」と連携	元笠原小学校跡地	約50名
八女茶山唄＆おどり発表会	9/23（金祝）	八女茶山唄、八女茶山おどり、八女茶の淹れ方の3つの体験ワークショップ	えがおの森	32名

こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾

①八女茶山おどり推進会議

八女茶山唄・八女茶山おどりの普及を通じ、これからの茶文化・農村文化を考えた。八女茶発祥600年に関連する記念事業等について意見交換や検討を行った。

※計4回実施

参加者

馬場美雅（八女市観光大使）
武田力（演出家・八女茶山おどり制作者）
長津結一郎（九州大学大学院芸術工学研究院准教授）
東 穂積（福岡県茶生産組合連合会）
松延久良（福岡県茶業振興推進協議会）
大塚恵治（八女市黒木支所まちづくり推進係）
NPO法人山村塾スタッフ

こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾

②八女茶山おどり体験会　※計３回実施

第1回　5/29（土）おどり体験、八女茶試飲など実施

第2回　6/19（日）「NHK民謡魂ふるさとの唄」放映　※八女市長ご参加

第3回　11/20（日）3年ぶり開催の「笠原まつり」を盛り上げる

こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾

③八女茶山唄＆おどり発表会

唄って踊って味わう八女茶山2022

9/23（金祝）＠えがおの森

・八女茶山唄、八女茶山おどり、八女茶の淹れ方の体験ワークショップと発表

・八女茶山おどりの世界観や八女茶発祥600年についての意見交換

こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾

5/29（日）「NHK民謡魂ふるさとの唄」公開収録

5/3（火）　里山ミニワーク「お茶摘み」

④その他

あちこちに登場・参加しました。

6/23（木）11/21（月）黒木小3年生体験ワークショップ

2/11（土）開局10周年記念FM八女ラジオまつり

5/4（水）　第7回八女新茶まつり

こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾

活動の成果

8名のメンバーによる八女茶山おどり推進会議を計4回

体験会3回に計100名ほどの参加

発表会1回に32名の参加

※コロナ禍の影響を受けながらも、予定の取り組みを実施できた。

八女茶発祥600年祭実行委員会や関連組織と連携

八女茶発祥600年の機運を高めるべく各イベント参加や地元小学校への出前ワークショップ

5/29「NHK民謡魂ふるさとの唄」公開収録（全国に紹介できた）

※予定外の取り組み・成果を得られた。

※関連イベントを含めると約500人が踊った。

こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾

活動の課題

9月はまだ暑さが残り、唄や踊りのワークショップに高齢の方が参加されるのはハードだったかもしれない。
→発表会イベントは時期を再考する？

関わる人が増えるにつれて、日程調整・確保が難しくなっている。
→少人数によるこまめな打合せ、全員参加で協議できる場の使い分け

おどり経験者は増加しているが、普及や指導を担当できる人が少ない。
→イベントに招かれた際など、経験者が応援に来てくれるとうれしい。

今後に向けて

・令和5年度、八女茶発祥600年記念に関する各催しが企画されている。
連携を深め、八女茶発祥600年を盛り上げたい。

・おどり経験者は増えたので、おどりを指導できる人を増やしたい。
唄・おどり・八女茶を一緒に体験し味わうことで気づくことある。

・これまでの600年を振り返り、これからの600年を想像する。

＊これからの茶文化・農村文化、そして持続可能な暮らしを創造したい。

令和4年度　市民との協働によるまちづくり提案事業　活動事例報告　「八女茶山おどりプロジェクト」

こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾